

現況検査により認められる状況の記録

令和5年4月14日	
NO	1
場所	敷地
部位	全景



令和5年4月14日	
NO	2
場所	A B棟 (B棟)
部位	1階壁面 (B X 4~6 通り)
A B棟 (B棟) 1階壁面の配筋組状況。	



令和5年4月14日	
NO	3
場所	B X 6 通り
部位	W 1 8 A
計画通りに配筋組 (横筋: D13@200mm ダブル) が行われていることを確認。	


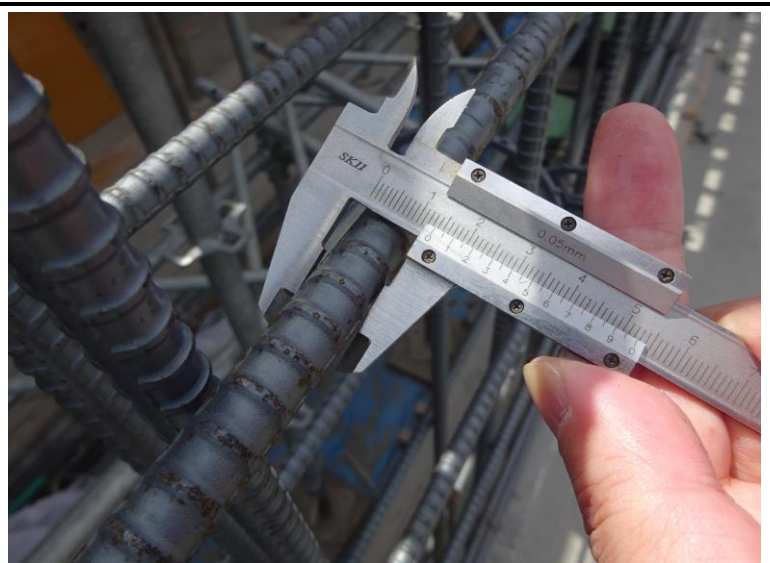


現況検査により認められる状況の記録

令和5年4月14日	
NO	4
場所	B X 6 通り
部位	W 1 8 A
同上。	




令和5年4月14日	
NO	5
場所	B X 6 通り
部位	W 1 8 A
同上。	

令和5年4月14日	
NO	6
場所	B X 6 通り
部位	W 1 8 A
壁立上がり筋との定着長さ (L1 : D13×40 = 520mm以上) が確保されていることを確認。	





現況検査により認められる状況の記録

令和5年4月14日	
NO	7
場所	B X 6 通り
部位	W 1 8 A
計画通りに巾止め筋が設置されていることを確認。(D10@1,000mm)	




令和5年4月14日	
NO	8
場所	B X 6 通り
部位	W 1 8 A
同上。	

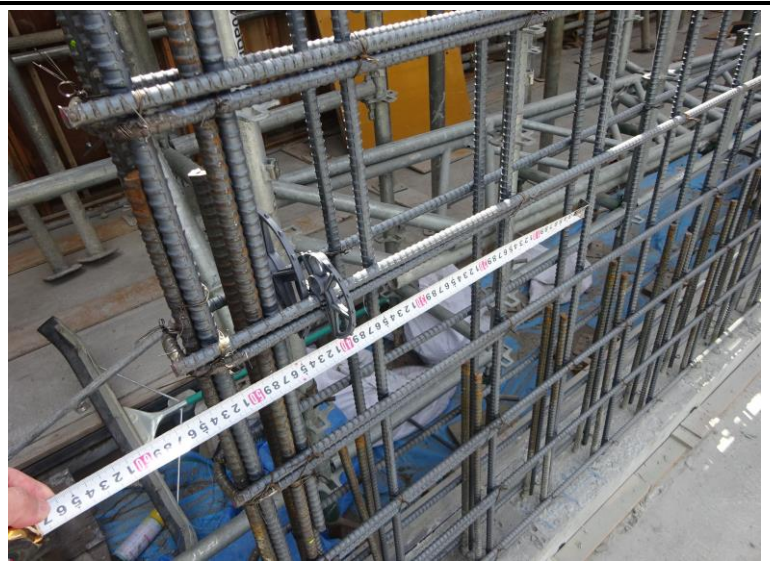



令和5年4月14日	
NO	9
場所	B X 6 通り
部位	W 1 8 A
鉄筋かぶり厚さ30mm (内外共) が確保される状況であることを確認。	

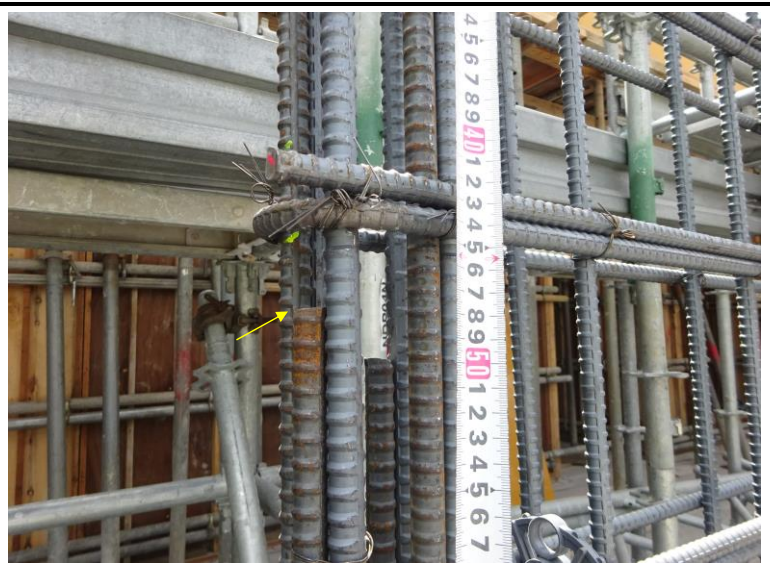



現況検査により認められる状況の記録

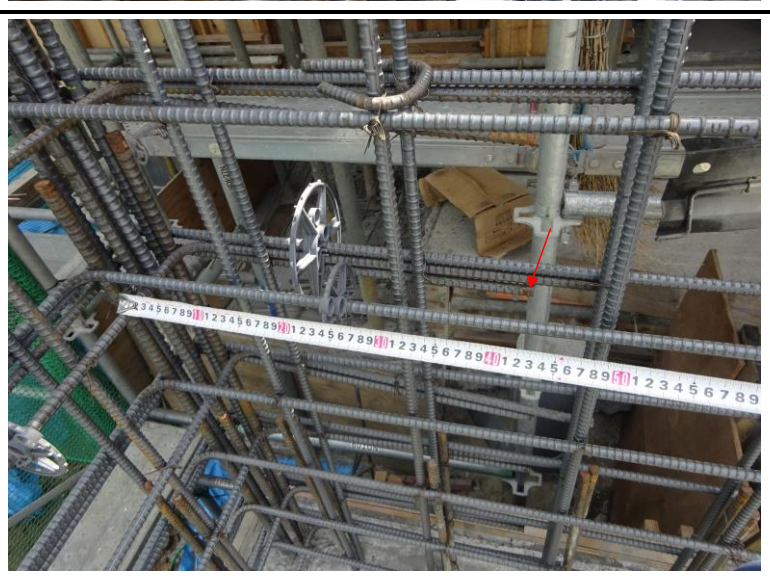
令和5年4月14日	
NO	10
場所	B X 6 通り
部位	W 1 8 A
壁（開口部）端部の横筋の納まり形状が計画（施工図）通りであることを確認。 （U字型閉塞形状、且つ、重ね継手L1： $D13 \times 40 = 520\text{mm}$ 以上が確保されている状態。）	
	



令和5年4月14日	
NO	11
場所	B X 6 通り
部位	W 1 8 A
壁端部補強筋4-D16の隣り合う補強筋の重ね継手位置は、計画通り（ $0.5 \times L1 = D16 \times 40 \times 0.5 = 320\text{mm}$ 以上）ずらして設置されていることを確認。	
	



令和5年4月14日	
NO	12
場所	B X 6 通り
部位	W 1 8 A
B X 6, B Y 9のL型交差部では、片側の壁端部部分を閉塞していない為、必要な定着長さ（端部補強筋の内側を起点とした定着長さL2： $D13 \times 35 = 455\text{mm}$ 以上）に不足する状況であることを指摘。	
	



現況検査により認められる状況の記録

令和5年4月14日	
NO	13
場所	B X 6 通り
部位	W 1 8 A
スペーサーが適切に設置されていることを確認。(外周部のスペーサーの出幅：増し打ち20mm分を含む60mm)	




令和5年4月14日	
NO	14
場所	B X 6 通り
部位	W 1 8 A
同上。内周部のスペーサーの出幅：かぶり厚さの最低値30mm+10mm (施工誤差を考慮した設計かぶり厚さ)	




令和5年4月14日	
NO	15
場所	B Y 5 通り
部位	W 1 8
計画通りに配筋組 (縦筋：D10@200mmダブル) が行われていることを確認。(縦筋は内側配筋、横筋は外側配筋)	




現況検査により認められる状況の記録


令和5年4月14日	
NO	16
場所	BY5通り
部位	W18
同上。	




令和5年4月14日	
NO	17
場所	BY5通り
部位	W18
BY5通りの型枠の設置計画状況(通り芯)を確認。計画通りの壁厚(200mm:外部側増し打ち20mmを含む)であることを確認。	

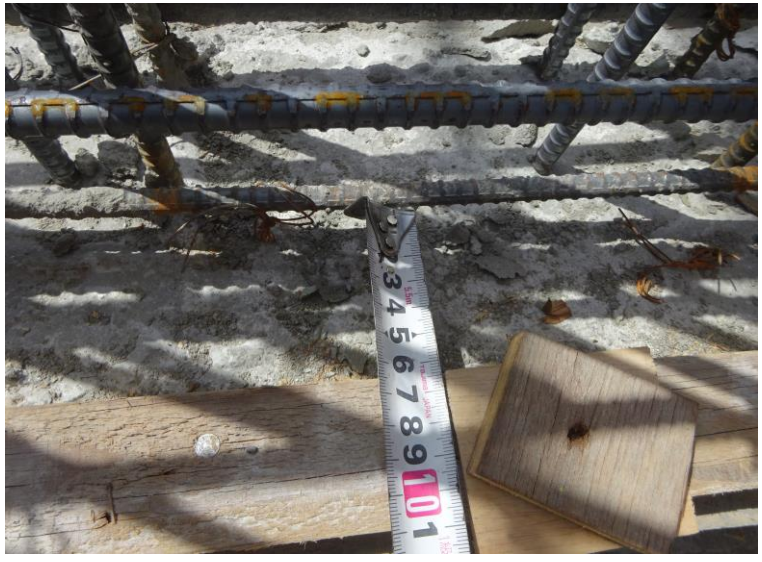



令和5年4月14日	
NO	18
場所	BY5通り
部位	W18
同上。壁厚200mmに対して鉄筋かぶり厚さ30mm(内外共)が確保される状況であることを確認。	




現況検査により認められる状況の記録

令和5年4月14日	
NO	19
場所	BY5通り
部位	W18
同上。	



令和5年4月14日	
NO	20
場所	BY5通り
部位	W18
壁立上がり筋との定着長さ (L1: 細い方の鉄筋がD10の場合、 $D10 \times 40 = 400\text{mm}$ 以上) が確保されていることを確認。	



令和5年4月14日	
NO	21
場所	BY5通り
部位	W18
当該箇所では、幅止め筋の設置が欠落していることを指摘。	



現況検査により認められる状況の記録

令和5年4月14日	
NO	22
場所	雑壁 (MB部)
部位	W1 2 (非耐力壁)
計画通りに配筋組 (D10@200mmシングル:縦横共) が行われていることを確認。	




令和5年4月14日	
NO	23
場所	雑壁 (MB部)
部位	W1 2 (非耐力壁)
同上。	




令和5年4月14日	
NO	24
場所	雑壁 (MB部)
部位	W1 2 (非耐力壁)
型枠の設置計画状況 (通り芯) を確認。計画通りの壁厚 (120mm) であることを確認。	






現況検査により認められる状況の記録


令和5年4月14日	
NO	25
場所	雑壁 (MB部)
部位	W12 (非耐力壁)
<p>同上。壁厚120mmに対して鉄筋かぶり厚さ30mm (内外共) が確保される状況であることを確認。</p>	




令和5年4月14日	
NO	26
場所	雑壁 (MB部)
部位	W12 (非耐力壁)
<p>W18への定着長さ (L2: D10×35=350mm以上) が計画通りに確保されていることを確認。</p>	

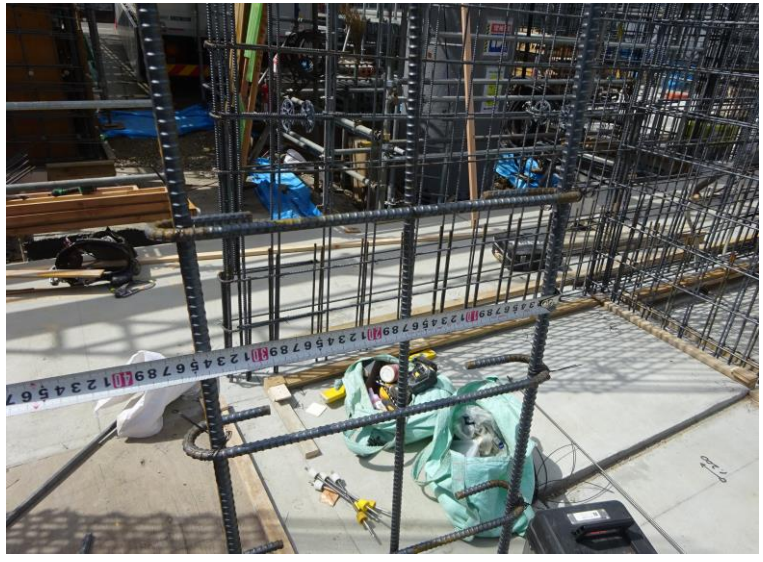



令和5年4月14日	
NO	27
場所	雑壁 (MB部)
部位	W12 (非耐力壁)
<p>同上。</p>	

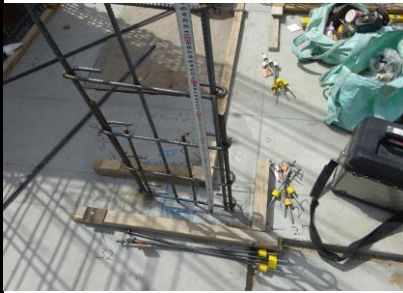



現況検査により認められる状況の記録

令和5年4月14日	
NO	28
場所	雑壁
部位	W15 (非耐力壁)
計画通りに配筋組 (D10@200mmシングル：縦横共) が行われていることを確認。(横筋端部は180°フック付)	

令和5年4月14日	
NO	29
場所	雑壁
部位	W15 (非耐力壁)
壁立上がり筋との定着長さ (L1) が確保されていることを確認。	




令和5年4月14日	
NO	30
場所	B X 4 通り
部位	W18
B X 4 通りのW18 (界壁部分) の配筋組状況。	